

もくちょうこまいぬ
97. 木彫狛犬

■ 指定日

昭和60年4月23日

■ 種別

有形文化財 彫刻

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市物部

■ 所有者

物部八幡社



■ 内容

物部八幡社の門の両脇に据えられた狛犬。

朝来地域の神社にある木彫の狛犬は、いずれも古く前足を立て後足ですわっている獅子の姿である。口を開閉して陰陽を表現する1対、すなわち、仁王像と同じく、阿形、吽形をあらわす。

狛犬は、その名が示すように高麗(こま)犬であり、平安期に中国・朝鮮から日本に伝わってきたといわれている。伝来当初は神殿内に置かれる木彫品であったが、近世になって石像参道狛犬として造立されるようになった。古い木彫狛犬は、朝来市域における神社創建を考えるうえで、貴重なものである。